

第4回定例会 一般質問

10名の議員が市政を問う



阿久津 佳子 議員

古河市の地域防災計画について

問 災害発生時の指定避難所・指定緊急避難場所の多目的トイレの有無、また、避難行動要支援者（要配慮者・要援護者）のトリアージおよびその対象者への初期対応、福祉避難所の現況と課題について伺う。

答（総務部長兼危機管理監） 避難所や避難場所各施設の多目的トイレの数は、指定避難所32カ

所中24カ所、指定緊急避難場所のうち地震時61カ所中50カ所、洪水時52カ所中36カ所で設置している。災害時のトリアージについては、避難所担当職員が受付時に聞き取りを行う予定で、必要な場合は福祉避難所や医療機関への移動も考えている。

答（健康福祉部長） 福祉避難所として、三和地域福祉センターと古河病院の2カ所を指定しており、市直営の避難所指定や民間福祉施設を指定できるよう働きかけを進めていきたい。

災害時の自助・共助・公助について

問 市民の「自助」についての啓発・自主防災組織での取り組みについて伺う。また防災教材

整備がある。問題点は、75%がサラリーマン団員である等、事業所の理解や家族の協力なしでは、十分に活動できない。事業者への優遇措置や家族功労報償金（廃止）に代わる他の方法はあるのか。

答（市長） ③現在行っているものは、永年表彰の時点でご家族に対し感謝の意を込めて、感謝状を贈呈させていただいている。

答（総務部長兼危機管理監） ①広報、ホームページ以外にも、リーフレットを作り、庁舎の窓口で配布している。現在出前講座を利用し、市の行動計画等について説明している。来年も台風等の出水期の前に広報等でお知らせしていくなど、啓発に努

「クロスロードゲーム」や「HUG避難所運営ゲーム」を活用したらいかがか。

答（生活安全部長） 市民の自助についての啓発として、行政区、自治会等を対象に、出前講座を実施し、自主防災組織でも古河消防署の協力のもと普通救命講習や避難誘導訓練、防災訓練等を実施し、自助、共助に直結する訓練活動を行っている。クロスロードゲームや避難所運営ゲーム等も出前講座等に取り入れるか検討していきたい。



市内の避難所表示



生沼 繁 議員

災害に強いまちづくりについて

問 ①洪水を対象にしたタイムライン（防災行動計画）を今後市民の方へどのように広く公表していくのか。②中央運動公園体育館（避難所）の進入路が冠水し避難所としての機能が十分でない。以前の質問に下大野都市下水路の拡幅整備には費用と時間がかかるとの答弁だったが、その後の計画は。③消防団員の確保として、入団しやすい環境

めていきたい。

答（上下水道部長） ②都市下水路や流入水路周辺の公共施設用地を活用した雨水貯留施設を含め、さまざまな角度から対策を検討していきたい。また、下大野都市下水路の流入河川である女沼川の积水水門新設工事が国土交通省直轄工事として平成28年度より実施されている。完成後は運動公園付近の冠水に対しても改善が見込まれる。



全国大会への切符を手にした古河市消防団（第11分団）